

## ★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 前田英作 副委員長 内田誠一・藤吉弘巨

幹事 近藤一晃・木村昭悟 幹事補佐 大西正輝・船富卓哉

日時 10月20日(木) 13:00~17:40

21日(金) 9:30~17:20

会場 宮崎大学木花キャンパス工学部プレゼンテーションルーム (宮崎市学園木花台西1-1, 宮崎空港からタクシー(20分 2,500円程度), 宮崎空港から宮交シティでバス乗り換え(40分 780円程度), 宮交シティからバス(25分 500円程度), 宮崎駅前からバス(40分 630円程度). <https://www.miyazaki-u.ac.jp/guide/map/kibana> TEL [0985] 58-7422 棕木雅之)

議題 オープンサイエンス~研究資源と研究体制のオープン化~

### 20日 テーマ発表1

1. オープンサイエンスの動向と情報学分野へのインパクト 北本朝展 (NII)
2. [招待講演] 日本語の歴史的典籍のデジタル化における国文学研究資料館の戦略 山本和明 (国文学研究資料館)
3. [招待講演] くずし字・古文書の自動解読にむけて 寺沢憲吾 (公立はこだて未来大)

### 一般発表1

4. ディープラーニングによる日本語の歴史的典籍におけるくずし字の認識及びWWWアプリケーション開発の試み  
○早坂太一・大野 互・加藤弓枝 (豊田高専)・山本和明 (国文学研究資料館)
5. 構成性システムとその手書き文字認識への応用について ○伊達 章・窪田 光・山田雄輔 (宮崎大)
6. 混合数字データセットを用いたCNNの内部状態解析 ○井手将太・内田誠一 (九大)
7. 文字カテゴリの急所をCNNで探る ○井手将太・内田誠一 (九大)

### 21日午前 一般発表2

1. Deep-CNNを用いた人物判定による入退室管理システム ○木網啓人・比嘉優樹・佐藤裕幸 (岩手県立大)
2. 顔認識のためのスパース表現分類法における基底作成に関する一検討  
○渡邊秀昭 (東北大)・和泉勇治 (日大)・片岡 駿・田中和之 (東北大)
3. 環境光の急変による視覚特性変化を考慮した歩行者の視認性推定に関する予備検討  
○今枝祐綺・平山高嗣・出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)

### 一般発表3

4. 領域分割を活用したSEM画像による照度差ステレオ  
○松瀬博喜・上瀧 剛・内村圭一 (熊本大)・宮本 敦 (日立)
5. 細胞内の中心体追跡と移動原理推定  
○杉本 潤 (九大)・近藤 興・木村 暁 (国立遺伝学研)・内田誠一 (九大)
6. [ショートペーパー] 植物根圏フローラの活動理解のための計測手法の検討  
○武富貴史・晝間 敬・岡田 豪・伊原彰紀 (奈良先端大)・山本豪志朗 (京大)

### 21日午後 テーマ発表2 (13:30~)

7. [招待講演] なぜクックパッドがデータのオープン化を行うのか? 伊尾木将之 (クックパッド)
8. ソフトウェア工学分野における公開データとその活用—ソフトウェア検証データの公開方法について—  
○則兼卓人・伊原彰紀・平尾俊貴・小野健一・松本健一 (奈良先端大)
9. 教育データのオープン化に向けて ○末廣大貴・毛利孝佑・谷口雄太・大久保文哉・島田敬士・緒方広明 (九大)
10. Shinguhkan データセットの拡張と関連ツールの公開に向けて  
○川西康友 (名大)・飯山将晃 (京大)・棕木雅之 (宮崎大)・美濃導彦 (京大)・村瀬 洋 (名大)

### 一般発表4

11. 任意の非マルコフ的制約下での多物体追跡 ○徳永 誠・内田誠一 (九大)
12. ステガノグラフィ (ANGO) のテンプレートマッチングへの応用—暗号技術と画像処理技術の異分野連携—  
○石塚裕一 (九大)・越前 功 (NII)・岩村恵市 (東京理科大)・櫻井幸一 (九大)
13. Collaborative Mean Attraction 法による一般物体識別 ○荻原弘樹・棕木雅之 (宮崎大)

◎20日研究会終了後、簡易懇親会(参加費1,000円)を予定していますので御参加下さい。

☆PRMU研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月15日(木), 16日(金) 鳥取大 [10月6日(木)] テーマ: PRMU グランドチャレンジ

2017年1月19日(木), 20日(金) 京大吉田キャンパス百周年時計台記念館 [11月4日(金)] テーマ: 人の生活・活動を支えるCV/PR/AR

人の3-D計測や物体認識技術, モバイル通信機器やウェアラブルセンサなどの進化・普及に伴って, ICTの技術がますます身近な存在になりつつあります. 一昔前までは限られた専門分野や局面に限定されていたCV/PR/AR系技術の活躍の場が, ロボット掃除機や音声操作家電, GPS活用ゲームなど身の回りの日常生活の中に広がっています.

今回は信学会 PRMU・MVE 及び情処学会 CVIM 各研究会の共催として、「人の生活・活動を支える CV/PR/AR」と題するテーマセッションを企画しました。衣食住をはじめとする生活支援・向上，スポーツや健康維持／増進，人の感覚や理解の補助・拡張，力作業は知的生産の支援，安全を守る，などの日常生活の様々な場面において活用される CV/PR/AR 技術に関する発表を広く募集します。

- ・衣食住など生活一般を支える
- ・スポーツ（登山，ジョギングなど）を楽しむ，技能の上達を助ける
- ・健康維持（ヘルスケア），生活習慣病予防（ダイエットなど），運動障害支援，治療・診断
- ・人の感覚や理解を補助・拡張するコミュニケーション支援
- ・力作業，知的生産などの業務支援
- ・人と社会の安全を守る

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合せ先】**

PRMU 研究会幹事

E-mail : [prmu-organizer@mail.ieice.org](mailto:prmu-organizer@mail.ieice.org)